

中央ブロック学術講演会

平成29年6月11日(日) PM1:00~5:00 場所:日本歯科大学東京短期大学 501 講堂

(有) コンプリートプロテーゼ 代表
松平 浩 先生

演題 「解剖と入れ歯」 ~患者さんに合った適切な総義歯とは~ 抄録

昨今、総義歯は著名な先生方が講演され、レベルの高い製作法および技法も浸透してきていると感じています。しかし、オーラルだけを診たデンチャーでは患者さんの本当に直すべきところを感じとることが出来るだろうか?咬める義歯とはどのような義歯だろうか?という疑問を感じています。

患者さんに合った適切な総義歯という補綴物には物を食べる、咬むということだけでなく、健康に大きな力を発揮できると感じています。下顎骨は遊離骨片であり、頭部のバランスをつかさどるだけでなく、全身のバランスにも関わっています。適切な補綴物は全身のバランスを整え、患者さんを幸せにする力も含んでいます。ところが作業模型を観察するだけでは情報が不足し、製作する補綴物は患者に十分な利益を供与できません。しかし、技工士としてすべての患者さんの口腔内を観察するために立ち会うのは難しいことです。そこで技工士側も十分な解剖学的な知識を持ち、歯科医から提供していただいた情報を理解し、患者さんの利益に供与しなければならないと考えます。

そのような観点から「解剖と入れ歯」について皆様と一緒に考えたいと思います。